

企業 PR コラム

技術と技能の融合で鍛造品の付加価値を高める

株式会社 大智鍛造所
代表取締役 大智 靖志

当社は昭和18年に創業しました熱間型打鍛造の会社です。現在はエアースタンプハンマ5ライン、油圧ハンマ1ラインで、主に自動車部品の鍛造品を生産しています。熟練工の技、すなわち「技能」を伝承し、より高い品質で生産性を高めるための金型設計や機械の保全などの「技術」の向上との融合を図る



ことが、当社にとって意味のある発展だと考え人材育成に力を入れています。

また、「鍛造工場らしくない鍛造工

場」を目指して徹底した5S活動に取り組んでいます。一度、当社のホームページを見てください。

6月からATAC様にご支援いただき「省エネ活動」に取り組んでいます。



株式会社大智鍛造所

〒666-0025 兵庫県川西市加茂6丁目45-1

TEL 072-759-4969

FAX 072-759-8752

URL <http://www.ohchi-forging.jp>

ATAC ひと言

中小企業の専門教育 ATACが指導できる専門分野シリーズ

その7「今すぐできる原価管理」

原価管理を導入して成果を上げている会社は多くありますが、そのためにはまず原価計算の仕組みを作り上げる必要が有ります。原価管理という言葉の意味が原価計算の結果を活用して、部門別や製品別など管理単位毎の原価を把握し、改善活動を進める事ですから、効率の良い改善活動を展開するためには原価計算は避けては通れません。原価計算を導入すれば全社の管理単位毎の原価が月単位の集計で常に把握され、販売や利益の状況から合理化の着眼点が見えてきます。改善計画を作った段階では効果金額を算出し投資金額と比較して効果の高い改善計画を選択できます。そして改善を実施した後では原価計算の推移を見て効果の実績を確認できます。

このように効果の大きい原価計算ですが、その仕組みを作り上げるにはかなりの労力が必要で、日々の日報などでデーターを集めるのも大変です。中小企業の中でもある程度の規模が有りスタッフが揃っている会社では可能ですが、少人数で社長以下全員が日常の事業活動に追われている多くの企業では導入にはかなりの困難が伴います。原価計算にチャレンジしたけど途中で断念した経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

このような経験をお持ちや、合理化をしたいけれど原価計算はとて導入できないとおられる方々に ATAC では原価管理の良さを

残しながら手間のかからない改善活動をお勧めしています。原価計算がフルタイムの原価実績把握であるとすれば、これは必要な時に必要な部門だけ簡便な方法で原価実績を知るテンポラリーな方法で言うなれば原価管理の簡便法です。

簡便法では部門別の原価は日常把握していませんから合理化の着眼点を見つけるのには使えません。会社の規模が大きくなってくると各部門から出る合理化計画に対し全社の立場での取舍選択が必要です。しかし比較的規模の小さい会社では重点課題は見えていますからこの問題はあまり重要ではありません。簡便法ではまず管理費と原価の比率や材料費・人件費・償却費など必要ないくつかの項目について実態を掴みます。合理化案を作成した時点で合理化前後に変わる項目の金額を算出し費用対効果を調べます。また実施後については随時実績を算出して効果を確認します。

原価計算は導入の手間もさることながら維持していくメンテナンスや日報報告の手間も大変です。その結果が十分に活用されていれば良いのですが、しだいに中身が実態と離れ、いつの間にか使われなくなっている例が良く見られます。合理化の第一歩として貴社の事情に合った原価計算の方法を考えて見ませんか。

(吉田記)